

事例から学ぶ！自律的な化学物質管理の進め方(応用編) ～成功・失敗事例から実践のポイントを学ぶ～

7月の基礎編に続き、今回の応用編では、化学物質管理を実際の現場でどのように進め、改善につなげていくかを学んでいただきます。講師は事業場の活動推進に精通されている労働衛生コンサルタントの土屋先生です。

リスクアセスメントを実施したものの「その後どうすればよいのか」、高リスクと判定された場合に「どのような対策を選べばよいのか」など、現場で直面しやすい課題を取り上げます。CREATE-SIMPLEの活用、保護具・社内教育などについて、成功事例だけでなく、うまくいかなかった事例とその改善のポイントも交えながら分かりやすく解説します。また、限られた人員や予算の中でも取り組める中小企業の実践例もご紹介します。

現場で活かせる実践のヒントをお持ち帰りください。

日時

2026年11月13日(金)
13時30分～16時30分

参加費

無料

全国、どなたでも参加できます。

受講方法

会場受講 定員 100名

岡谷鋼機名古屋公会堂4階 第7集会室
名古屋市昭和区鶴舞1丁目1番3号

WEB受講

定員 900名

Zoom ウェビナー使用

・ご提供いただいた個人情報は、本セミナーの運営および関連情報のご案内以外の目的には使用いたしません。

お申込み

申込期限 11月6日(金)

お申込みはWEBでお願いします。

下記QRコード、またはHPよりお申込みください。

会場受講用



WEB受講用



HP <https://www.airouki.or.jp/training>

セミナー詳細

講師

土屋眞知子コンサルタント
オフィス 代表
土屋 眞知子 氏



講義内容

1. リスクアセスメントの実践 ― うまくいった事例・いかなかった事例

- ・CREATE-SIMPLEの実施による未達成事例
- ・RA結果が現場改善につながらなかった事例(コミュニケーション不足)
- ・社内ルール策定と運用の不備事例
- ・失敗原因から改善、定着までのプロセスの解説

2. 「高リスク判定」その後どうする？

- ・高リスクになった実際のケース
- ・代替化・局排・作業方法・保護具など対策の選択肢
- ・実測値の活用による改善事例
- ・対策前後の比較

3. SDS管理とCREATE-SIMPLE手法における「課題」

- ・SDSの収集の不十分さ
- ・SDSの欠如・CAS番号の不明
- ・混合物、ガス、粉体等で入力を誤る
- ・CREATE-SIMPLEの結果への過度な期待
- ・評価判定時の考え方の不明確さ

4. 保護具・社内教育の成功事例／失敗事例

- ・リスク低減措置を十分に検討せず、保護具の着用だけで対応した事例
- ・適切な保護具を選定したものの、正しく使用・管理されなかった事例
- ・社内教育が現場に定着しなかった事例
- ・改善につながった教育方法、管理規程、社内周知の実践事例

5. 中小企業でもここまでできる

- ・人材と予算が限られる中での実践例
- ・最低限押さえるべきポイント
- ・化学物質管理者が最優先で取り組むこと